

## 目指せ！ さいたま考古マスター

君に**挑戦**！ これなんだ??

### 第 5 回

#### 宿題のかいせつ

宿題のかいせつをします。

宿題の問題の前に、こんな文章があったね。

みんなは、織田信長（おだのぶなが）、豊臣秀吉（とよとみひでよし）、徳川家康（とくがわいえやす）を知っているかな？

全国が戦国大名（せんごくだいみょう）の領土に分かれてあらそっていた戦国時代を終わらせ、全国統一を進めた人たちだね。実は、この 3 人のうちの 2 人は、さいたま市に来たことがあるんだよ。そのうちの 1 人は、徳川家康。なんてったって江戸（えど。今の東京）に幕府（ばくふ）を開いた人だから、さいたま市にも何度もきたことがあるんだよ。

まずは、この 3 人のことを調べてみると・・・

名 前	織田 信長 (おだのぶなが)	豊臣 秀吉 (とよとみひでよし)	徳川 家康 (とくがわいえやす)
生没年	1534 年～1582 年	1536 年～1598 年	1542 年～1616 年
主な城	安土城 (あづちじょう)	大坂城 (おおさかじょう)	江戸城 (えどじょう)
業 績	<ul style="list-style-type: none"><li>・勢力を拡大 (かくだい)</li><li>・楽市・楽座 (らくいち・らくざ)</li><li>・南蛮貿易 (なんばん ぼうえき)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・織田信長を滅ぼした明智光秀 (あけちみつひで) を倒し、信長の後継者に</li><li>・天下統一</li><li>・検地 (けんち)</li><li>・刀狩 (かたながり)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・関ヶ原 (せきがはら) の戦い</li><li>・征夷大將軍・江戸幕府 (せいいたいしょうぐん ・えどぼくふ)</li></ul>
	全国統一への道すじづくり	全国統一の完成	武家政治の確立

これをてがかりにして、まず宿題 その 1 を考えてみよう！

**宿題その 1** 全国統一を進めた 3 人のうち、さいたま市に来たことがあるのは、徳川家康とあともう 1 人は誰でしょう？

**1.織田信長**

**2.豊臣秀吉**

**ヒント**：その人は、天下統一の総仕上げとして、1590 年にさいたま市を通過して会津 (福島県) まで行ったんだよ。

さて、3 人のことをまとめたさっきの表とヒントをくらべてみると・・・。

織田信長・・・全国統一は果たせなかったんだね。

1582 年になくなっているよ。

豊臣秀吉・・・全国統一を完成させたんだね。

1598 年までかつやくしていたんだね。

そうすると、織田信長は全国統一の途中で、1590 年よりも前に亡くなっているから・・・

答えは 2. の豊臣秀吉だね！！

織田信長は、1582 年に戦国大名の武田勝頼（たけだかつより）を滅ぼして、武田氏の本拠の甲斐国（かいのくに。山梨県）までは行ったんだけど、関東地方までは来なかったんだ。かわりに、重臣の滝川一益（たきがわかずます）という人を上野国（こうずけのくに。群馬県）に派遣して、関東の武将たちを従わせようとしていたんだ。

豊臣秀吉は、織田信長を裏切った明智光秀を倒して、信長の全国統一をひきついだんだ。中国・四国・九州地方を統一して、残るは関東と東北地方になった 1590 年、関東地方の統一を進めていた北条氏を滅ぼしたんだ。そのあと、宇都宮（栃木県宇都宮市）、会津（福島県会津市）まで軍勢（ぐんぜい）を進めて、北関東や東北地方の統一をはたしたんだ。その行きと帰りに秀吉は岩槻城（岩槻区）に泊まったんだ。行きには川口市から緑区に入って岩槻城に向かい、帰りには見沼区や中央区、それに桜区も通ったと考えられるんだよ。くわしくは👉 [天下人・秀吉がやってきた](#)（別ファイル）をみてみてね！

次に、宿題その2だよ。

**宿題その2** さいたま市に1100か所以上ある遺跡の中には、宿題その1の答えの人が泊まった遺跡や徳川家康が泊まるために造られた場所があるんだよ。では、徳川家康が泊まるための場所が造られた遺跡は次の内のどれでしょう？

**1.土呂陣屋跡（とろじんやあと、北区）**

「陣屋（じんや）」っていうくらいだから？

**2.岩槻城跡（いわつきじょうあと、岩槻区）**

「城（しろ）」って、なんかそれっぽい？

**3.浦和御殿（うらわごてん、浦和区）**

「御殿（ごてん）」って、竜宮城で乙姫様が住んでいる建物も御殿だったかな？

**ヒント：**一つだけ特別な名前がついているかな？

「そんなの知ってるわけないじゃん！！」っていう声が聞こえて来たので、三つの候補（こうほ）をひとつずつ見ていくよ。

**1. 土呂陣屋跡（とろじんやあと、北区）**

「陣屋」っていうのは、江戸時代に幕府につかえた旗本（はたもと）が領地にもうけた本拠地のことをいう場合が多いんだ。「土呂」は今のさいたま市北区に土呂町（とろちょう）という地名があるけど、江戸時代には「土呂村」と呼ばれていたんだよ。それで、土呂にある陣屋の跡（あと）なので、「土呂陣屋跡」ってよばれているんだ。土呂村は、江

江戸時代には幕府の旗本の初鹿野（はじかの）氏の領地となっていたので、「土呂陣屋跡」はこの初鹿野氏の陣屋跡と考えられているんだよ。

だから、徳川家康が泊まるための場所とはちがうね。

なお、土呂陣屋跡は、名前は「陣屋」だけど、縄文時代や戦国時代の遺跡として知られているんだ。右の写真は、縄文時代後期の「注口土器（ちゅうこうどき）」っていう土器が見つかったようすだよ。

下の写真は、すりばちだよ。戦国時代のはじめころのもの。土呂陣屋跡は戦国時代には土塁や堀によって区画された城郭になっていたんだ。このすりばちは、そこ頃のもの。旗本の初鹿野氏は、戦国時代の城郭の跡を使って陣屋を構えたようだよ。



縄文時代の注口土器が出土したようす  
※きゅうすのような長い注ぎ口がついているので「注口（ちゅうこう）」土器というんだよ。長い年月の間に注口がとれてしまっているんだ。でもとれた注口はすぐそばにあったので、元の姿にもどすことができたんだよ。いつか問題に出すかもしれないから、おぼえていてね！



すりばち（北区・土呂陣屋跡出土）

## 2. 岩槻城跡（いわつきじょうあと、岩槻区）

岩槻城は、関東の戦国時代を考えるとときには欠かすことのできない城だよ。北条氏が滅んだあと、関東に移ってきた徳川家康は、江戸城に本拠をかまえたんだけど、重臣の高力清長という人を岩槻城主にして、北関東や東北地方方面から江戸に向ったときに、江戸に

最も近い岩槻城を守らせたんだ。江戸時代には、「老中（ろうじゅう）」などの幕府の政務を担当する譜代大名（ふだいだいみょう）が城主になる城とされたんだよ。徳川家康も岩槻城に何度も泊まっているけど、家康が泊まるための場所として造られたわけではないね（岩槻城の中には「御茶屋曲輪（おちゃやぐるわ）」という場所があって、家康が鷹狩の時に泊まる場所だっという考えもあるんだけど、よくはわからないんだ。ぜひ、みんなも研究してみてね）。

徳川家康は、なくなったあと日光東照宮（にっこうとうしょうぐう。栃木県日光市）にまつられるんだだけ、家康のあとの幕府の将軍は日光におまいりに行くようになるんだ。その時岩槻城の本丸には、将軍が泊まる専用の建物（＝「御殿」（ごてん））が用意されたんだ。でも、それは家康がなくなったあとのことだから、これもちがうね。



岩槻城本丸跡の火事のあと  
※黒いのは建物の材木などが燃えたあとに残った炭（すみ）。オレンジ色は建物の壁土（かべつち）などが焼けたもの。火事後、堀を埋めて、建物の基礎を造ったようすが見えるよ。城の形を大きく造りかえたことがわかるんだ。

### 3. 浦和御殿（うらわごてん 浦和区）

戦国時代っていうと、戦争ばかりしている時代と思われがちだけど、戦国大名やその家臣たちは、けっこういろんな趣味をもっていたんだ。「茶の湯（ちゃのゆ）」や「能（のう）」・「謡曲（ようきょく）」などの芸能（げいのう）は今日の代表的な伝統文化だけど、この時代の大名たちのたしなみだったんだ。中には、絵画や和歌（わか）などで名をはせた人もいるんだよ。

そうした中で、武将らしい趣味といえど、代表格はなんといっても鷹狩（たかがり）。鷹狩は、鷹を使って獲物（えもの）を捕らえる狩の一種なんだけど、鳥や獣（けもの）を捕まえることは大名が厳しく制約している場合が多くて、鷹狩を行うこと自体、大名の特権だったんだよ。

徳川家康も鷹狩が大好きだったらしいんだ。鷹狩は、大勢の人を使って獲物をかいたてて、空からまいおいた鷹がとらえる、っていう狩だから、合戦がない時の兵士の訓練になったといわれているね。それと、城から離れて各地で時を過ごすことで、政治のよしあしや庶民が困っていることを知ったりすることも目的だった、というよ。



鷹狩の鷹

※岩槻区観光経済室提供（ホームページ「城下町岩槻鷹狩り行列」より）

家康が鷹狩をするときには、大勢の家来を引き連れて何日もあちこちをまわることが多かったから、大人数を収容できて、警備上も安心な宿泊場所は、家来が城主になっている城だったんだ。だから、家康が関東に来て最初のころは、岩槻城や忍城（おしじょう、行田市）、川越城（かわごえじょう、川越市）などの近くで鷹狩をして、それらの城に泊まっていたようなんだ。やがて関東の治安が定まってくると、城から離れたところでも鷹狩をするようになったようなんだ。それで、城以外の場所にも、鷹狩のときの宿泊や休息のための場所として、「御殿（ごてん）」や「御茶屋（おちゃや）」と呼ばれる施設（しせつ）が造られたんだ。

徳川家康が泊まるために造られた「御殿」は、埼玉県内だと、鴻巣御殿（こうのすごてん。鴻巣市）、越谷御殿（こしがやごてん。越谷市）、そして浦和御殿（さいたま市浦和区）などが有名だよ。御茶屋は、石戸御茶屋（いしどおちゃや。北本市）があるね。

・・・そう、宿題その2の答えは、3の浦和御殿だよ。

浦和御殿のことは、今日の挑戦の中でも出てくるよ！